

平成 31 年 第 3 回建設技術研究開発評価委員会 <議事要旨>

日 時：令和元年 7 月 11 日（木）14：00～14：40

場 所：中央合同庁舎 4 号館 1 階全省庁共用 123 会議室

出席者：田中 哮義、道奥 康治、本橋 健司、山口 栄輝（五十音順、敬称省略）

議 事：

- ・総合技術開発プロジェクトについて
- ・ヒアリング審査「建築物と地盤に係る構造規定の合理化による都市の再生と強靱化に資する技術開発」

配付資料：

資料 1 総合技術開発プロジェクトについて

資料 2 建築物と地盤に係る構造規定の合理化による都市の再生と強靱化に資する技術開発

議事要旨：

令和 2 年度の新規要求課題候補（1 件）について、事前評価を実施するため、外部有識者会議を開催した。委員の主な意見は下記の通り。

- 「建築物と地盤に係る構造規定の合理化による都市の再生と強靱化に資する技術開発」
 - ・研究の対象が、杭は非住宅、擁壁は住宅に限定しているように見えるので、杭・擁壁とも住宅・非住宅双方に利用できる技術になるよう検討してもらいたい。
 - ・建物基礎の研究対象を杭に限定しているが、今後、建物基礎全般について検討する必要がある。将来的には構造物の上下一体で評価することが考えられるため、それを見越した基準体系を作れると非常に意義がある。
 - ・地盤が悪い場所や傾斜地での建築を考えると、基礎地盤の強靱化及び構造規定の合理化に資する本プロジェクトは非常に意義があると考えられる。最終的な目標に向け、まずは、非住宅は杭、住宅は擁壁に絞って検討し、効率的に取組を進めていければ良いと思われる。